

2026年 共通テスト志願者数(確定値)

# 共通テスト志願者数は 昨年並みの49.6万人!

現役志願率の同時発表は見送り!

旺文社 教育情報センター 2025年12月12日

大学入試センターは9日、2026年共通テストの確定志願者数を発表した。志願者数は昨年とほぼ同数の49.6万人。現役は減少、既卒は7年振りに増加した。なお、今年は現役志願率については後日改めて発表となった。共通テストは年明けの1月17日・18日、追試験・再試験は1月24日・25日に実施される。

●志願者数…496,237人(前年;495,171人／増減;+1,066人／対前年;100.2%)

・現役 …… 420,311人(425,968人／-5,657人／98.7%)

・既卒 …… 71,310人(64,974人／+6,336人／109.8%)

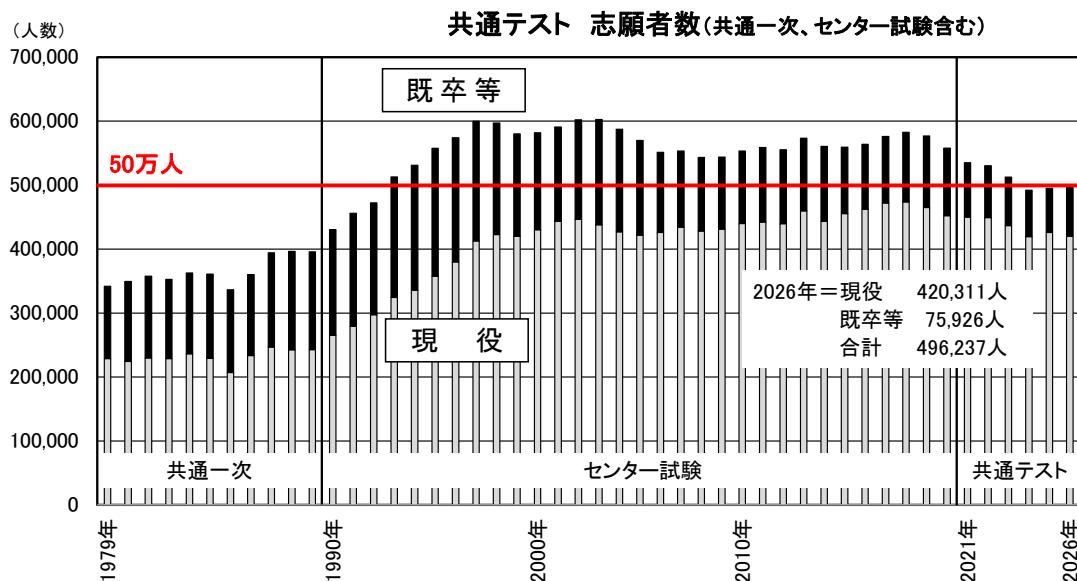
・その他 …… 4,616人(4,229人／+387人／109.2%)

※「その他」は、高認合格者、外国の学校、高専第3学年、専修学校高等課程の修了者など。

※本記事のデータは入試センター発表資料、文科省「学校基本調査」をもとに作成。

※本記事では上記「既卒」と「その他」を合わせて「既卒等」とする。

## ●志願者の状況



志願者数全体は昨年とあまり変わらず、3年連続で50万人を割った。現役・既卒別では現役が5,700人の減、既卒が6,300人の増。旺文社の予測では、今年の18歳人口は昨年並み※1だが、大学の現役志願率(共テではなく、大学そのものの志願率)は上がり、現役の大学受験生は増加するとみている。それでも共テの現役志願者が減少したのは、年内入試への移行と、一般選抜であっても共テではなく独自入試狙いの受験生が増えているためと考えられる。

既卒志願者の増加は近年の現役志向の高まりからすると意外な結果と言える。昨年は18歳人口が大きく増加し※1、大学受験生も2万人ほど増えたと予測する※2。しかしその結果として大学入学者も確かに増加はしたが、それほど伸びなかつた模様だ※3。これが今年の再チャレンジ組(共テ既卒志願者)の増加につながったと思われる。この点は今後、学校基本調査の確定値が出てから検証することになる。

※1.18歳人口は「一昨年(2024年)107.3万人⇒昨年(2025年)110.1万人⇒今年(2026年)110.3万人」と予測。なおこの数値は旺文社が独自に算出したもので、「3年前の特別支援学校 中学部の卒業者」を含む(最終ページ参照)。

※2.大学受験生数は「一昨年(2024年)65万人⇒昨年(2025年)67万人」程度と予測。

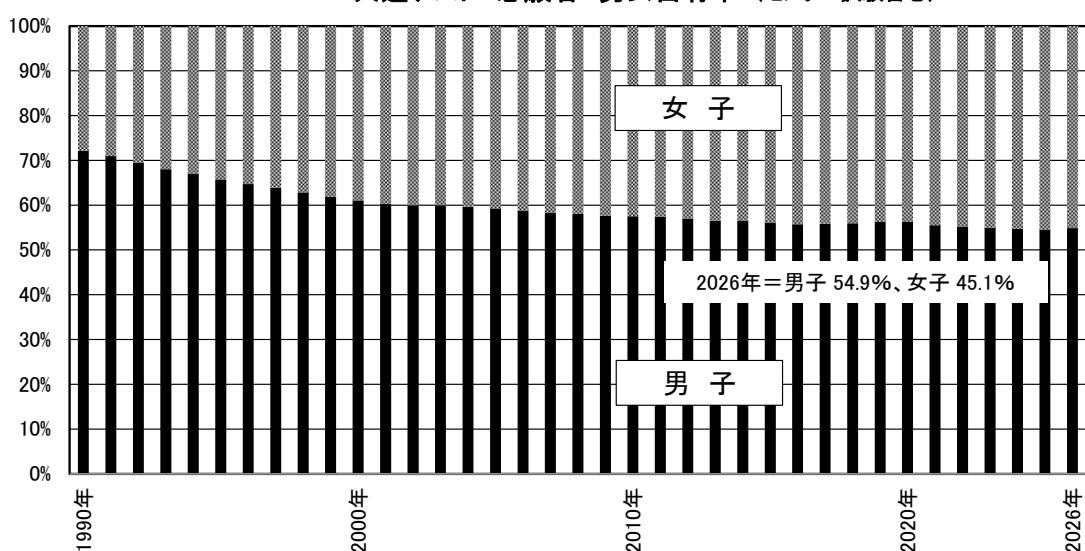
※3.大学入学者数は対前年で、国公立大は大きな変動がないとして、私立大は1.6万人の増加に留まっている(日本私立学校振興・共済事業団「令和7年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」より)。

### ●現役・既卒等占有率／男女占有率

共テ志願者全体における現役・既卒等別の占有率は「現役=84.7%」「既卒等(高認合格者なども含む)=15.3%」。さらに細かく見ると「現役男子=44.4%」「現役女子=40.3%」「既卒等男子=10.5%」「既卒等女子=4.8%」となる。いまや既卒等は15%程度しかいないが、その中でも女子は非常に少ない。

また、これを男女別の占有率に組み替えると、「男子=54.9%」「女子=45.1%」となる。女子が男子を超えたのは青森、富山、沖縄のわずか3県。女子の占有率がもっとも低かったのは39.8%の奈良県で、唯一3割台だった。

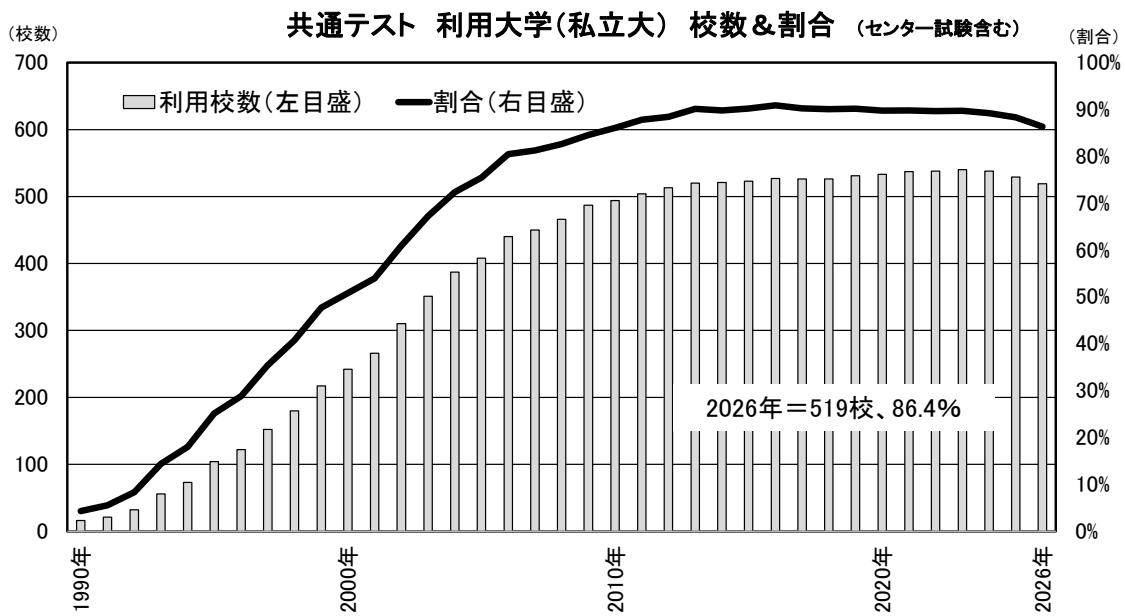
共通テスト 志願者 男女占有率 (センター試験含む)



## ●共テ利用大学数

共テを利用する大学は、対前年+10大学の698大学。国公立は全大学、私立は86.4%の519大学が利用する(国公私立大全体では89.5%が利用)※。

※入試センター発表数値は昨年も今年も本記事よりも1大学多い。昨年に募集停止となった電動モビリティシステム専門職大が含まれているため(本記事では除外)。



※割合の算出にあたり、通信制のみの大学は含まない。専門職大学は含む。翌年新設の大学は含む。

翌年「私立→公立化」する大学は私立大としてカウント。

※2026年は入試センター発表数値は520校だが、募集を停止している電動モビリティシステム専門職大が含まれているため、本グラフでは519校とする。

利用大学は新規で+2大学、取り止め(募集停止、大学統合等含む)で-12大学。取り止める大学は2021年～2026年の6年間でそれぞれ「10⇒4⇒2⇒7⇒13⇒12大学」と推移している。2021年はコロナ禍で取り止めが多かつたが(共テを利用する=共テの会場校になる⇒感染拡大のリスクを避ける)、昨年から再び多くなっている。受験生が年内入試にシフトしていく中、大学は共テを利用するメリットと、会場校を担う労力を秤にかけた結果、取り止めという判断になったのだろう。

【新規利用】**私立** 環太平洋大、東京保健医療専門職大

【取りやめ】**私立** 北洋大、東日本国際大、ものつくり大、東京女子体育大、相模女子大、桐蔭横浜大、東洋英和女学院大、愛知学泉大、大阪女学院大、兵庫大  
このほか、**私立** 名古屋柳城女子大(募集停止)、京都ノートルダム女子大(募集停止)

なお、短大での利用も「2025年 128短大⇒2026年 114短大」に大きく減少。短大は現在、募集停止が止まらない状況にあり※、減少分の14短大のうち9短大が募集停止によるものだ。なお、今年は初の専門職短大による共テ利用が加わった(せとうち観光専門職短大)。

※2026年からの募集停止は22短大(募集停止の発表後、別法人での存続が決まった頌栄短大は含まない)。

## ●現役志願率の問題

今年から共テの Web 出願が始まった。入試センターは出願処理の業務が大幅に軽減されたはずだ。しかしそれでも確定志願者数の公表は昨年よりも数日遅く、さらに現役志願率は後日改めて発表となった。志願者数の確定はWeb出願の初年度で念のため充分な日数を取ったのかもしれない。しかし現役志願率の遅れは現在報道がなされている 18 歳人口の問題が影響しているようだ。

18 歳人口は国が直接集計しているわけではなく、文科省が 3 年前の中学校等の卒業者数から算出している。中学校等までは義務教育なので、この生徒数や卒業者数を集計すれば、当該年齢の日本の人口とみなすことができる。ところがこの「中学校等」は現状、中学校、中等教育学校前期課程、義務教育学校で集計されており、特別支援学校中学部は入っていない。この算出方法は長年行われてきたが、それが今月頭に急に報道で明るみに出て問題視された。文科省は見直しを表明している。

しかし 18 歳人口は共テの現役志願率には直接関係しない。それではなぜ入試センターは現役志願率の発表を遅らせたか。それは 18 歳人口(=特別支援学校「中学部」が抜けている)から飛び火する別問題があるからだと推察する。

共テの現役志願率は「共テの現役志願者数 ÷ 高 3 生数」で算出される。しかしこの「高 3 生数」は現状、全日制高校、定時制高校(の 4 年生)、中等教育学校後期課程の生徒数で算出されており、特別支援学校「高等部」は入っていない。

それなら加えればいい話だが、そう簡単にはいかない。特別支援学校高等部だけではなく通信制高校も入っておらず、これが相当難しい。通信制高校は単位制であるため学年別の生徒数はわからない。年度途中の卒業者もいる。3 年以上かけて卒業する生徒もいるだろう。現状の学校基本調査では高 3 生数を正確に把握することは不可能なのだ。

仮に卒業者数で見ると、特別支援学校高等部は例年 2 万人、通信制高校は本年度 10 万人近くになる見込みだ。特に通信制は規模が大きいが、文科省が大学進学関連の数値を出す際は、高 3 生数以外でもこの 2 つを除外しているケースがほとんどだ。ちなみに旺文社では数年前からこれを問題視しており、この 2 つを含めた数値を独自に算出して昨年から記事で利用している※。

※[「真の大学全入は2035年か!?」\(2024年8月5日記事\)](#)など。18歳人口は未対応だが、それ以外の数値は通信制、特別支援を含めて過去50年分を算出。

また、[昨年の本記事\(2024年12月13日記事\)](#)では通信制、特別支援を含めて、旺文社独自に予測値で共テ現役志願率の算出を試みた。

入試センターが現役志願率を公表するのは年末か年明けになろう。そのときに分母の高 3 生数に特別支援学校の数を入れるのは簡単だ。ただし通信制高校は含めないか、予測値で含めるか。このいづれかの判断になると思われる。

(2025.12 石井)

(次ページに都道府県別 共通テスト志願者数を掲載)

## 共通テスト 志願者数(2026年)

出身高校 所在地	合計			現役			既卒等			合計 前年差
	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
1 北海道	15,209	8,601	6,608	12,927	7,027	5,900	2,282	1,574	708	1,066
2 青森県	3,825	1,902	1,923	3,456	1,654	1,802	369	248	121	-190
3 岩手県	4,318	2,221	2,097	3,916	1,958	1,958	402	263	139	-236
4 宮城県	8,093	4,464	3,629	6,929	3,670	3,259	1,164	794	370	-177
5 秋田県	2,940	1,484	1,456	2,649	1,269	1,380	291	215	76	274
6 山形県	3,586	1,812	1,774	3,232	1,564	1,668	354	248	106	-31
7 福島県	5,635	2,859	2,776	5,040	2,445	2,595	595	414	181	33
8 茨城県	12,364	6,612	5,752	10,875	5,614	5,261	1,489	998	491	-250
9 栃木県	8,088	4,355	3,733	7,248	3,743	3,505	840	612	228	-10
10 群馬県	7,735	4,079	3,656	6,925	3,498	3,427	810	581	229	76
11 埼玉県	27,876	16,035	11,841	23,910	13,131	10,779	3,966	2,904	1,062	-202
12 千葉県	21,957	12,603	9,354	18,486	10,123	8,363	3,471	2,480	991	-83
13 東京都	68,375	36,966	31,409	56,038	28,813	27,225	12,337	8,153	4,184	-386
14 神奈川県	31,769	18,129	13,640	26,703	14,575	12,128	5,066	3,554	1,512	796
15 新潟県	8,896	4,592	4,304	8,020	3,993	4,027	876	599	277	52
16 富山県	4,339	2,161	2,178	3,819	1,807	2,012	520	354	166	97
17 石川県	5,445	2,804	2,641	4,860	2,391	2,469	585	413	172	-141
18 福井県	3,201	1,687	1,514	2,864	1,446	1,418	337	241	96	128
19 山梨県	3,591	1,890	1,701	3,193	1,615	1,578	398	275	123	-49
20 長野県	8,579	4,631	3,948	7,241	3,707	3,534	1,338	924	414	-72
21 岐阜県	7,519	4,063	3,456	6,790	3,559	3,231	729	504	225	-35
22 静岡県	14,370	7,684	6,686	12,847	6,628	6,219	1,523	1,056	467	-116
23 愛知県	35,574	20,012	15,562	31,284	17,022	14,262	4,290	2,990	1,300	-61
24 三重県	6,575	3,492	3,083	5,767	2,923	2,844	808	569	239	-42
25 滋賀県	5,279	2,882	2,397	4,660	2,446	2,214	619	436	183	52
26 京都府	9,244	5,284	3,960	7,527	4,094	3,433	1,717	1,190	527	0
27 大阪府	27,739	16,313	11,426	22,611	12,833	9,778	5,128	3,480	1,648	117
28 兵庫県	21,095	11,843	9,252	17,983	9,764	8,219	3,112	2,079	1,033	-7
29 奈良県	5,332	3,210	2,122	4,089	2,311	1,778	1,243	899	344	1
30 和歌山県	3,074	1,642	1,432	2,642	1,327	1,315	432	315	117	2
31 鳥取県	2,265	1,164	1,101	1,884	905	979	381	259	122	-8
32 島根県	2,438	1,236	1,202	2,133	1,027	1,106	305	209	96	-78
33 岡山県	7,620	4,113	3,507	6,682	3,464	3,218	938	649	289	-13
34 広島県	13,488	7,022	6,466	11,908	5,959	5,949	1,580	1,063	517	32
35 山口県	4,485	2,373	2,112	3,872	1,945	1,927	613	428	185	-45
36 徳島県	2,633	1,354	1,279	2,317	1,127	1,190	316	227	89	84
37 香川県	3,937	1,999	1,938	3,302	1,605	1,697	635	394	241	-34
38 愛媛県	5,623	2,914	2,709	5,085	2,521	2,564	538	393	145	50
39 高知県	2,498	1,256	1,242	2,138	1,004	1,134	360	252	108	62
40 福岡県	21,273	11,611	9,662	18,061	9,531	8,530	3,212	2,080	1,132	9
41 佐賀県	3,406	1,849	1,557	2,976	1,545	1,431	430	304	126	660
42 長崎県	4,914	2,637	2,277	4,178	2,108	2,070	736	529	207	51
43 熊本県	6,243	3,282	2,961	5,303	2,648	2,655	940	634	306	24
44 大分県	3,477	1,823	1,654	3,066	1,565	1,501	411	258	153	119
45 宮崎県	4,015	2,103	1,912	3,446	1,718	1,728	569	385	184	4
46 鹿児島県	5,942	3,289	2,653	4,880	2,506	2,374	1,062	783	279	65
47 沖縄県	5,742	2,830	2,912	4,549	2,123	2,426	1,193	707	486	-30
48 その他	4,616	3,193	1,423				4,616	3,193	1,423	187
全国	496,237	272,360	223,877	420,311	220,251	200,060	75,926	52,109	23,817	387

※「その他」は高認合格者、外国の学校出身者など。